

2023 No110



協会だより

令和5年1月発行
 発行所
 伊万里市防火協会
 事務局
 伊万里消防署消防3課内
 TEL 0955-23-2118
 FAX 0955-22-7598

令和五年

新年のごあいさつ



伊万里市防火協会
 会長 中山 武重



明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は当協会の事業推進に格別の御高配と多大なる御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の発生から三年、未だに終息の見えない状況ですが、本協会といたしましても、今後万全の感染症対策を期して協会事業を行い、各種災害の未然防止に努めるとともに会員相互の親睦を図ってまいります。

併せて、各行事を通して市民の皆様の防火意識の高揚を図り、災害に強いまちづくりに努めていきたいと考えております。今後とも本協会の活動趣旨を御理解いただき、御支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、本年も皆様方にとって幸多き年となりますよう御祈念申し上げます、新年の挨拶と致します。

今年も防災研修を開催しました



令和4年10月26日(水)に伊万里市民センターにおいて、令和4年度伊万里市防火協会防災研修を開催しました。今年度は、医療法人順天堂病院 事務長の白濱好美氏をお招きして、「二度にわたる冠水の経験と水害の対応」をテーマに講演を行っていただきました。

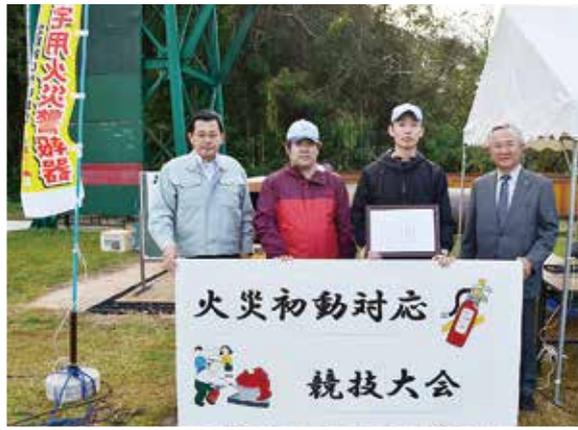
講演には、当協会会員事業所をはじめ、伊万里市女性防火クラブから多くの参加をいただきました。講演内容は、過去の被害状況や、それを基にした対応など、わかりやすく解説していただき、大変有意義な研修となり、各事業所においても今後の防火、防災対策の参考にさせていただけると考えております。



火災初動対応 競技大会

令和4年11月1日(火)、伊万里消防署において火災初動対応競技大会を開催しました。

この競技会は、事業所における初期消火技術の向上と、防火意識の高揚を図ることを目的に毎年開催しているものです。今年も、伊万里市防火協会及び伊万里市危険物安全協会会員事業所から8事業所13チーム、26名の参加がありました。



優勝した SUMCO 久原チーム



競技は二人一組になり、通報・初期消火・避難救出・応急手当・搬送の安全、的確さを競いました。どの事業所も日頃から訓練に取り組まれているため、その成果を十分に発揮することが出来ました。来年度も多くの参加をお待ちしています。



少年消防クラブ野球大会 東山代少年野球に 栄冠

令和4年10月2日(日)に第36回伊万里市防火協会会長旗争奪少年消防クラブ野球大会の決勝戦を国見台野球場で開催しました。

決勝戦は、東山代少年野球と大坪赤門少年野球の顔合わせとなり、東山代少年野球が9-5で大坪赤門少年野球を退け、見事栄冠を手にしました。

- 優勝 東山代少年野球少年消防クラブ
- 準優勝 大坪赤門少年野球少年消防クラブ
- 第3位 ブラックリバー少年消防クラブ
- 伊万里愛球会少年消防クラブ



防火ポスターコンクール

市内の小学4年生以上及び中学生を対象に防火ポスター図案を募集したところ、62点の応募がありました。

小学生の部で最優秀賞に輝いた、伊万里小学校6年土田陽斗さんの図案で防火ポスターを作成し、市内の各事業所に配布、掲示をお願いしました。応募された全作品を秋の火災予防運動にあわせて伊万里市役所に展示し、多くの市民の皆様に見ていただきました。



土田 陽斗 さん
(伊万里小6年)



展示の様子

少年消防防火書道大会



東山代小6年
堀田 心彩さん

少年期における防火意識の高揚を図ることを目的として、市内小学6年生児童を対象に防火書道作品を募集し「少年消防防火書道大会」を開催しました。

「火の用心」、「火災予防」、「防火の輪」の課題に対して495点の応募があり、審査の結果、東山代小学校の堀田心彩さんの作品が最優秀賞に輝きました。入賞作品51点を秋の火災予防運動にあわせて伊万里市役所に展示しました。

作品は「無火災」を願う子ども達からのメッセージとして多くの市民の皆様に見ていただきました。

出前消防スケッチ

毎年好評の「出前消防スケッチ」。今年度は、牧島小学校、波多津小学校、二里小学校、山代西小学校の4校に消防車と救急車で出向いてスケッチをしてもらいました。

この出前消防スケッチは、消防車等のスケッチを通して消防業務を身近に感じ、少年期における防火意識の高揚を図ることを目的として実施しています。作品は審査を行い、入賞作品を春の火災予防運動にあわせて伊万里市民図書館に展示する予定です。



波多津小学校でのスケッチ風景





消防虎の巻



消防訓練をやってみよう！

○なぜ必要なの？

「火事はひとごと、私のところは関係ない」と思っている方が多いと思います。しかし、火災はいつどこで発生するかわかりません。いざという時のため、パニックを起こさず、『安全』で『**確実**』に行動できるよう、日頃から訓練をしましょう。

●消火訓練

消火器取扱い訓練



消防署では訓練用の水消火器を貸出しています。※予約が必要です。

●通報訓練

119番通報すると

- ・火災発生場所（近くの目標物も含めて）
- ・何が燃えているか
- ・逃げ遅れや怪我人がいないか
- ・お名前と電話番号



事前に連絡をしてもらえれば、実際に119番をかけて通報訓練を行うこともできます。

など聞かれます。パニックになると普段は言える住所や名前ですら言えなくなることがあります。通報に必要な事項を紙に書いて電話機の前に貼っておくと、いざという時の手助けになります。

●避難訓練

いざという時に建物の外に避難するための設備を探してみましょう。

避難用設備には『避難器具』や非常口まで誘導する『誘導灯』等があります。



様々な場面を想定し、実践的な訓練をして下さい。失敗を恐れず、逆に失敗を教訓にするのもひとつの手段です。